

基礎から専門分野へ 段階的に学べる4年間

1

年次

看護の対象である人間や環境・社会について理解を深め、科学的思考力の基礎となる問題解決のための方法を学びます。そして、看護の本質や役割、看護倫理の基礎、看護学の重要な概念や理論などの基本的な考え方、調和のとれた人間関係を構築するためのスキルなどを学びます。

2

年次

看護を実践する上で不可欠な知識である病気の原因、回復過程、心の機能と健康などについて幅広く学びます。これらの知識を基礎とした看護の対象をライフサイクルや疾病回復過程の視点から理解する方法や看護実践の基礎となる看護提供システム、チーム医療における他職種との連携や協働のしくみについても学びます。

3

年次

看護援助の知識と技術を学内演習や臨地実習を通して具体的に学びます。また、健康保持増進、疾病予防のために必要な社会的知識と集団での疾病の特徴などについても学びを深めます。

4

年次

学修の集大成として、今まで学んださまざまな知識や技術を理解・統合することで学修課題を明確にし、看護の現象を深く理解する力を養います。また、国際社会での健康問題や災害看護の意義や役割についても理解を深め、実際にこれからの医療における課題について学びます。

看護専門科目群

看護の専門的知識と技術を学び、看護実践能力の修得や、看護専門職としての価値と専門性を発展させるための科目群。看護専門分野Ⅰ、看護専門分野Ⅱ、看護の統合分野と実践分野で構成しています。

専門基礎科目群

健康にかかわる基礎的知識や、看護の専門知識・技術の基礎となる科目群。人体の構造と機能、臨床医学、保健医療福祉などの理解を深めるための科目で構成しています。

人間の理解と科学的思考科目群

人間を総合的に捉え、高い倫理観を持ち、調和のとれた人間形成を目指した科目群。人文・社会科学、自然科学、外国語、健康・スポーツ、基礎ゼミナールなどの科目で構成しています。

教職に関する科目

※教職に関する科目は変更になる場合があります。

Pick up カリキュラム 在宅看護論実習Ⅰ

カリキュラム改正により、新設された実習です。

1年次に行われ、地域で生活する人々の暮らしを知り看護の対象を理解することを目的に行われる実習です。看護の基本を学ぶ第1歩として地域を知ることから始めます。暮らしの基盤となる地域を理解するため、大学の所在する地域の歴史、地理、人々の暮らし(衣・食・住)について調べます。また当大学は「和」の精神を基本としています。その教えの基、寺社訪問を行い、地域の中での寺社の役割について学び、多様な場での暮らしの理解を深めます。

Pick up カリキュラム 基礎看護学実習Ⅱ

カリキュラム改正により2単位から3単位となります。

はじめての本格的な実習です。看護過程という問題解決技法を使って、患者を総合的にアセスメントして、患者にとって必要な看護とは何かを見極め、計画を立て看護ケアを実践します。看護は、その時々で状況で判断し対応しなくてはなりません。つまり臨床判断能力を養う力が必要です。まずは「患者に関心を寄せる」ということを大切にしながら、臨床判断の基礎を学びます。

Pick up カリキュラム 保健医療統計学

データの集計・分析につよい看護職の育成

足利大学は、数理・データサイエンス・AIを理解し活用する基礎的能力を体系的に育成する教育について、文部科学省から認定されました。プログラムのねらいは、変化し続ける情報化社会において必要となる知識及び技術を日常生活や医療の現場で使いこなす基礎的素養を身に付けることにあります。プログラムに関する科目を履修し、単位修得することで、修了者には認定証が交付されます。将来のキャリアUPにつなげましょう。

Pick up カリキュラム 統合実習

4年次生の科目で看護管理学の視点を持った看護職に育つために必要な基礎的知識を修得します。統合実習では今まで修得した知識・技術を統合し、看護管理の実際から病院組織における看護部の位置づけと役割・責務について理解し、組織の中での看護師の役割を学びます。また、複数患者受け持ちの優先順位やその際の医療安全管理、看護倫理、チーム医療について学びながら看護実践力を高めていきます。

1年次		2年次		3年次		4年次		
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
<ul style="list-style-type: none"> ●看護学概論 ○看護人間工学 	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎看護方法論Ⅰ ●基礎看護学実習Ⅰ ●基礎看護方法論Ⅱ ●ヘルスアセスメント ●成人看護学概論 ●老年看護学概論 	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎看護方法論Ⅲ ●基礎看護方法論Ⅳ ●成人看護方法論Ⅰ ●成人看護方法論Ⅱ ●老年看護方法論Ⅰ ●老年看護方法論Ⅱ ●母性看護学概論 ●小児看護学概論 ●精神看護学概論 ●公衆衛生看護学概論 ○公衆衛生看護活動展開論Ⅰ ●医療と安全管理 	<ul style="list-style-type: none"> ●成人看護方法論Ⅲ ●母性看護方法論Ⅰ ●母性看護方法論Ⅱ ●小児看護方法論Ⅰ ●小児看護方法論Ⅱ ●精神看護方法論Ⅰ ●精神看護方法論Ⅱ ○学校保健 ○産業保健 ○公衆衛生看護活動展開論Ⅱ ●地域ケアシステム論 ●在宅看護方法論Ⅰ ●在宅看護方法論Ⅱ ●健康教育論 	<ul style="list-style-type: none"> ●成人看護学実習Ⅰ ●成人看護学実習Ⅱ ●老年看護学実習 ●母性看護学実習 ●小児看護学実習 ●精神看護学実習 ●在宅看護論実習Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ○公衆衛生看護管理論 ○養護概説 ●看護倫理 	<ul style="list-style-type: none"> ○公衆衛生看護学実習Ⅰ ○家族看護論 ●看護研究 ○健康相談活動の理論 	<ul style="list-style-type: none"> ○リハビリテーション看護論 ●看護管理と継続教育 ●看護研究ゼミナールⅠ 	<ul style="list-style-type: none"> ○感染看護特論 ○国際看護特論 ○災害看護特論 ●看護研究ゼミナールⅡ ○がん看護論 ○クリティカルケア論 ○ホスピスケア論
<ul style="list-style-type: none"> ●医療概論 ●人体の構造と機能Ⅰ ●人体の構造と機能Ⅱ ●微生物学 	<ul style="list-style-type: none"> ●臨床医学Ⅰ ●栄養学 ●病理学 ●臨床医学Ⅱ ●臨床医学Ⅲ ○精神保健 	<ul style="list-style-type: none"> ●臨床薬理学 ●臨床医学Ⅳ ●臨床医学Ⅴ ●臨床医学Ⅵ 	<ul style="list-style-type: none"> ●公衆衛生学 ●保健医療統計学 ○衛生学 ●保健医療福祉行政論 	<ul style="list-style-type: none"> ●疫学 	<ul style="list-style-type: none"> ○公衆衛生看護学実習Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ○公衆衛生看護学実習Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ○医用工学の理論 	<ul style="list-style-type: none"> ○医用工学の基礎
<ul style="list-style-type: none"> ●数学 ○化学 ○生物学 ○物理学 ●仏教学 ○論理学 ●倫理学 ●心理学 ●日本国憲法 ○環境と社会 ○情報科学Ⅰ ●基礎英語 ●健康スポーツⅠ ●基礎ゼミナールⅠ ●人間関係論 	<ul style="list-style-type: none"> ●情報科学Ⅱ ●医療英語Ⅰ ●健康スポーツⅡ ●基礎ゼミナールⅡ ○発達心理学 	<ul style="list-style-type: none"> ○国際文化体験 	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳の指導法 ○情報通信技術を活用した教育の理論と方法 ○教育の方法と技術 ○教育相談 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育制度論 ○総合的な学習の時間と特別活動の指導法 ○生徒指導論 ○教育課程論 	<ul style="list-style-type: none"> ○養護実習 	<ul style="list-style-type: none"> ○医療英語Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ○英会話コミュニケーション ○中国語入門 ○ドイツ語入門 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○発達心理学 ○教育心理学 ○教職論 ○特別支援教育論 ○教育基礎論 						<ul style="list-style-type: none"> ○教職実践演習(養護教諭) 	

成人看護学

成人期にある対象の特徴を理解し、対象の特性に応じた看護を展開するための基礎的な援助について学修します。

生命が危機的な状態にある人や、手術療法によって身体的侵襲を受けた人の健康上の問題を捉え、異常の早期発見や生命維持のための援助について学修します。また、生涯にわたり治療を継続する必要がある人の生活と特徴を学び、質の高い生活が送れるための援助や、より良い人生の終末を迎えることができるような援助について学修します。

成人看護学実習は、足利市や周辺の急性期病院、基幹病院で実習しています。学内演習では、高機能シミュレータモデルを使用することで、臨地実習で受けもつ対象に近い状況を設定し、臨地を想定した学修をしています。さらにシミュレーション後、50インチの大型モニターを通して振り返り学修ができるため、学生個々の気付きや学びを共有する環境があります。